

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	防火水槽整備事業			会計	款	項目	大	小
				01	09	01	03	03
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防	主管課長	高市 薫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	火災により救護等を必要とする市民	意図	消防水利の適正配置として消火栓に偏らず防火水槽とのバランスがとれた防火対策を強化する。
事業内容	消防法第20条第1項の規定により定められた「消防水利の基準（昭和39年消防庁告示第7号）」に基づき、市内の消防水利の充実を図るため防火水槽の設置を行なうもの。			
事業開始から現在までの状況変化	消防水利の基準により、市内の各地域を防火水槽を中心とした規定の円の半径内に包含するよう整備してきた。現在その充足率は約78%であり今後も継続して設置を進めて行くものである。また、つくばエクスプレス沿線整備に伴う区画整理地には大規模建築物の建設が進み人口増加が顕著な地域であることから防火水槽の設置を推進するもの。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	消防水利の基準による防火水槽の充足率	52.10	52.10	52.10	%	↑↑↑
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	消防水利の基準における防火水槽の容量は40㎡以上とされるが、過去に整備された防火水槽には40㎡未満の容量のものも設置されている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平常時における火災での使用のみならず、地震等により水道が断水となり消火栓が使用できない場合においても消火活動が実施できる防火水槽の整備を図っている。		
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		11,086,000	31,714,900	20,091,486			
事業費(b)(円)		7,497,000	26,824,000	15,255,000			
うち一般財源		626,000	1,044,000	28,000			
職員給与費(c)(円)		3,589,000	4,890,900	4,836,486			
人役・職員(人)		0.50	0.70	0.70			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	新市街地区区画整理地内の公園予定地に耐震性貯水槽を2基及び木地区区画整理地内の公園予定地に1基を設置した。	③取り組みの課題	耐震性貯水槽を設置するにあたり、区画整理地の工事進捗状況を随時確認することが必要となる。
②今年度(H26)に実施した取り組み	区画整理地内の工事進捗状況を考慮し、計画的に市が管理する公園用地に設置することで、消防水利の充足率が増加した。	④今後の改善計画	市内の区画整理に伴い、消防水利の基準に基づき、耐震性貯水槽を適正に整備する。